

登熟期間の活力維持のため 出穂直前の『追加穂肥』を！！

今後、登熟期間の高温が予想されるため、極端な葉色の低下による白未熟粒の発生が懸念されます。

出穂前の葉色を確認し、葉色が薄い場合は、『追加穂肥』を施用し、登熟の良い稲体へ誘導しましょう。
 (穂揃期の葉色の目標 4.2~4.5)

◎基肥一発肥料であっても、出穂前の葉色が薄い場合には、『追加穂肥』を施用してください。

※『追加穂肥』は遅くとも出穂期までに施用して下さい。

施肥体系	確認時期	葉色	追肥対応
一発基肥	出穂7日前	3.8以下	追肥化成3号を 5~7kg/10a 速やかに施用
分施	出穂3日前(穂肥2回目後)	4.0以下	

◎出穂から20日間は湛水状態(田面が出ない程度)を保ち、稲体の活力を維持しましょう。

※水の有効利用のため、かけ流しは行わないでください。

